



株式会社ビーアンドピー

# 2021年10月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード 7804

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 市場環境

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続。
- 緊急事態宣言の再発出により経済活動が再び停滞。
- 一方、顧客企業において宣言解除後に向けた準備の兆しも見える。

## 業績

- 売上高 **479百万円**
- 営業利益 **▲14百万円**

## ポイント

- 緊急事態宣言再発出による経済活動停滞の影響を大きく受け、前年同期比で減収、減益。
- 1Q後半より3月年度末に向けた販促活動が活発化し、既に顧客企業から大口案件を受注するなど、1Qの低調な業績を2Q以降で補える予定。
- 引き続き、積極的な営業活動を行い、通期業績計画の達成に邁進。

# 2021年10月期 第1四半期 P/Lサマリー



1 Qは緊急事態宣言の再発出により、案件の後ろ倒し等が生じ、前年同期比で減収、減益となったが、2 Q以降の案件獲得は順調に進展している。

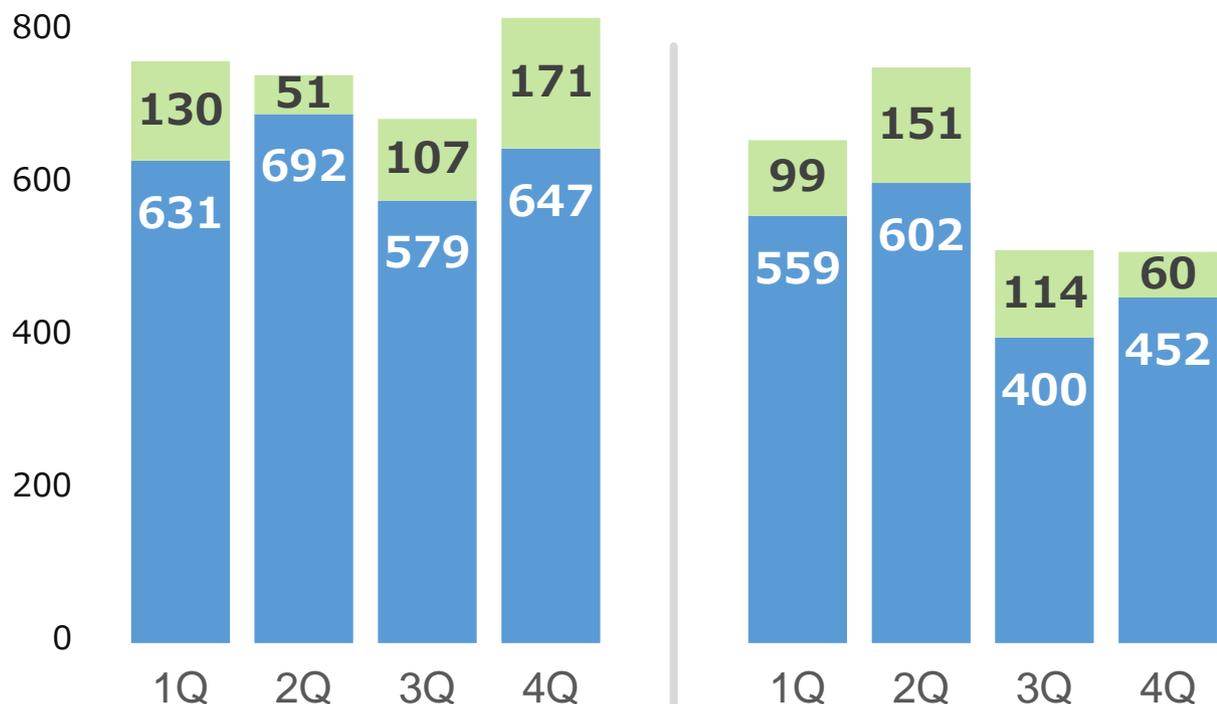
	2020.10 1Q (実績)	2021.10 1Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2021. 10 通期計画	進捗率 (%)
(単位：百万円)					
売上高	659	<b>479</b>	<b>▲27.2%</b>	2,650	18.1%
営業利益	65	<b>▲14</b>	<b>-%</b>	256	<b>-%</b>
経常利益	65	<b>▲6</b>	<b>-%</b>	263	<b>-%</b>
当期純利益	44	<b>▲4</b>	<b>-%</b>	179	<b>-%</b>

# 四半期単位の売上推移

1Qは新型コロナウイルス感染症の影響により経済が停滞したため、売上は前年3Q及び4Qと同水準に留まるものの、今後の受注は順調に確保。

(単位：百万円)

1,000



**第1Q累計**  
 販促広告 401百万円  
 生活資材 78百万円

2019年10月期

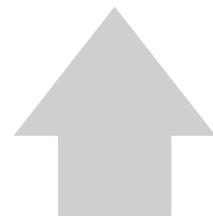
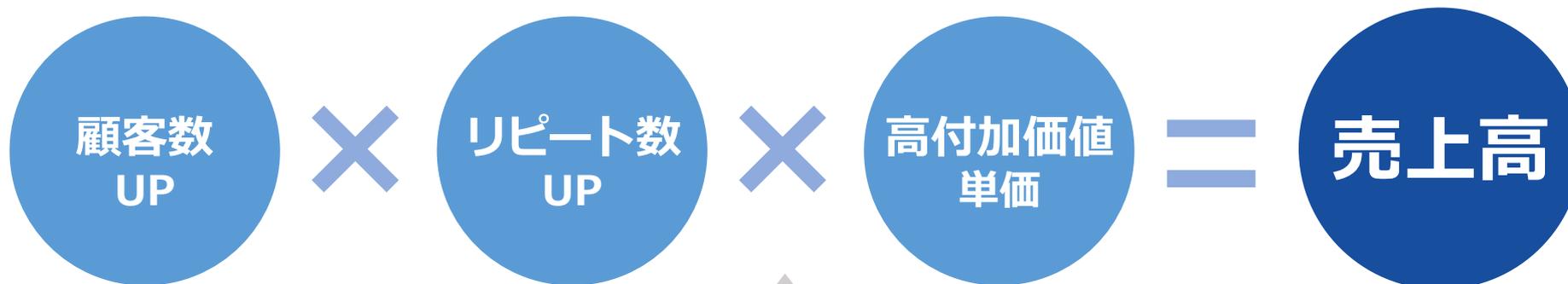
2020年10月期

2021年10月期

# 重点施策と今後の取組み

## 「独自の付加価値サービスを追求」

### 事業KPI



強みを強化し、独自の付加価値サービスを提供

#### 訴求力UP

- 都心部拠点の拡大
- マーケティング強化

#### 生産性強化

- オートメーション化推進

#### 新たな業界への進出

- インテリア内装業界

# 2021年10月期の重点施策と進捗状況



## Withコロナ・Postコロナにおいて

「新商材」  
「コスト削減」の取り組み  
「新市場」の開拓

新商材の提案、柔軟な生産体制によるコスト削減、Postコロナの時流に適合した新市場の開拓

## 経済活動の回復局面において

「独自の付加価値サービス」  
を追求し、事業基盤を拡大

重要拠点の営業活動強化、イベント再開を見据えた受注活動、マーケティング部門による顧客との関係強化

## 新しい手法への積極的な取り組み

既存ビジネスの着実な拡大と  
新しい市場の開拓を図る

強みである販促広告制作のノウハウを最大限活用し、デジタルサイネージ事業を開始

# B&P デジタルサイネージソリューション Digital Signage Solution

小売店向けに、当社の強みを生かした新たなソリューションを開始

販促広告の  
ノウハウ



デジタルサイネージ  
システム

**インクジェット事業に並ぶ2つ目の柱となる事業を目指し**  
**早期の業績寄与と中長期的な事業拡大を図ります。**



大阪と東京に開設した「体感ショールーム」では、様々なタイプのデジタルサイネージをご覧いただけます。

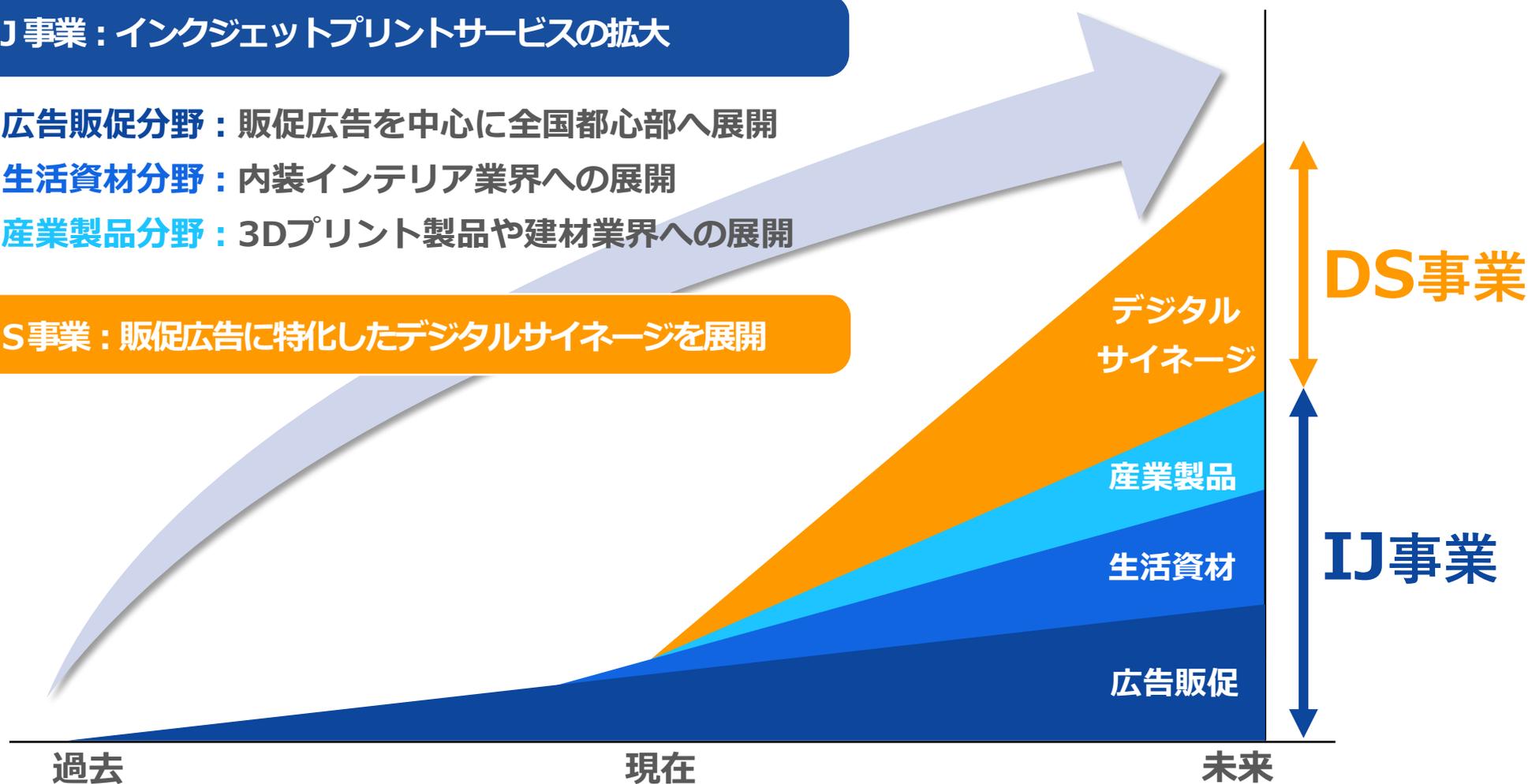
## 「リアル領域」 × 「デジタル領域」

リアルとデジタルの両領域で幅広いサービスを展開していく

### IJ事業：インクジェットプリントサービスの拡大

- 広告販促分野：販促広告を中心に全国都心部へ展開
- 生活資材分野：内装インテリア業界への展開
- 産業製品分野：3Dプリント製品や建材業界への展開

### DS事業：販促広告に特化したデジタルサイネージを展開



# 業績予想



独自の付加価値サービスを追求し本格的な事業拡大に向けての  
基盤づくりを行うことにより前期比8.5%増収を計画。

(単位：百万円)	2020年10月期 (実績)	2021年10月期 (予想)	増減率 (%)
<b>売上高</b>	2,441	2,650	+8.5%
<b>売上総利益</b>	949	1,076	+13.4%
売上総利益率	38.9%	40.6%	
<b>営業利益</b>	207	256	+23.3%
営業利益率	8.5%	9.7%	
<b>経常利益</b>	211	263	+24.6%
経常利益率	8.7%	10.0%	
<b>当期純利益</b>	140	179	+28.1%

**株主への利益還元は経営上の重要施策であり  
適切な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持継続**

	2020.10月期	2021.10月期
期末配当金	22円	26円 (予想)

# 參考資料

# 事業概要



**企業理念** より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう

**事業内容** 販売促進用サインディスプレイの制作  
屋外用大型サイン・広告の制作  
建物の内装、インテリア用品の出力、制作  
広告企画および制作に関する提案業務  
デジタルサイネージソリューションの提案業務

**代表者** 代表取締役社長 和田山 朋弥

**設立** 1985年10月

**資本金** 2億8千6百万円

**本店** 大阪府大阪市西区

**事業所** 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

**従業員数** 正社員：180名（2021年1月末現在）

**上場証券取引所** 東京証券取引所マザーズ（証券コード：7804）

**上場日** 2019年7月24日

## 「東西大都市」で「営業・連携生産体制」保有

大阪本店 (大阪市)



東京本社 (東京都港区)  
3Dスタジオ併設



ニコール事業部 (横浜市)  
ワイドフォーマットスタジオ併設



福岡営業所 (福岡市)



名古屋営業所  
(名古屋市)



## 大阪・東京・横浜・名古屋・福岡の 都心部にプリンター設備を配置。 24時間生産体制で出力サービスを展開



充実の設備で最適な商品を提案



# 100台以上の生産機械によって 多種多様なサインディスプレイ製品を制作

Mimaki 3DUJ-553

フルカラーUV効果インク  
ジェット3Dプリンタ



EPSON P20050

水性インク出力機



Mimaki JFX500

フラットベッドUVインク出力機



HP LX360

ラテックスインク出力機



EPSON S80650

溶剤インク出力機



FOTOPA XLD

カッティングマシン  
(ロール・シート印刷物対応)



EFI Vutek 5r

スーパーワイドUVインク出力機



UJV55-320

ワイドUVインク出力機



Kongsbelg XP

超高速マルチカッティングマシン



他にも、Mimaki UJV500 (UV機)、  
Mimaki JV300 (溶剤機)等、  
合計80台の出力機を保有しています。

# 免責事項

## 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

## ＜お問い合わせ先＞

株式会社ビーアンドピー 経営管理部

Email: [ir\\_bp@bandp.co.jp](mailto:ir_bp@bandp.co.jp)

<https://www.bandp.co.jp/ir/>